

【指導と評価の計画】

次	時	◆ねらい □学習内容 ○学習活動	評価観点			評価方法
			知	思	態	
第1次	1時	<p>表現するってどういうことだろう？</p> <p>◆ギターを知ろう ※「未来課題」の提示</p> <p>□ギターについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ギターの名手たちの演奏を聴いて、そのよさや美しさを考える。 ○実際の楽器に触れながらギターの構造、部品の名称や役割について知る。 ○教科書の写真を参考に、弾きやすいいい姿勢を見つける。 <p>□ギターに親しむ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○様々な奏法を試し、ギターで出せるいろいろな音を体験する。 <p>□チューニングについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○チューナーを使ってチューニングを練習する。 <p>□ストローク奏法にチャレンジしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ダウン・ストローク、アップ・ストローク、オルタネイト・ストロークを練習する。 ○いくつかのリズムパターンを体験し、それぞれの雰囲気の違いを味わう。 <p>□まとめ・振り返り</p>				
	2時					
	3時	<p>◆簡単な曲を演奏してみよう</p> <p>□音階にチャレンジ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ハ長調の音階を使って、「きらきら星」を演奏する。 <p>□3つのコードにチャレンジ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○C、D、Gのコードの押さえを確認し、ストローク奏法で演奏する。 <p>□「日曜日よりの使者」の弾き語りにチャレンジ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「日曜日よりの使者」について曲の背景などを知る。 ○G→C→Dのコード進行を練習する。(ダウン・ストローク) ○ストロークのパターンを変えながら練習する。 ○同じコード進行の繰り返しでも、ストロークのリズムパターンや強弱の違いによって変化する雰囲気の違いを感じ取り、奏法との関わりを考える。 	技			観察
	4時				思 ①	観察 ワークシート
	5時	<p>◆グループでアイデアを出し合って、表現を工夫しよう</p> <p>□前時に個人で考えた曲想と奏法との関わりを基に、場面ごとの奏法についてアイデアを出し、表現を創意工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○歌詞の内容を手掛かりに、場面ごとの表現を話し合う。 ○音を出して試しながら、ストロークのリズムや強弱などを決める。 <p>□表現を決定づけた手掛かりや、それによる表現の工夫をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○表現のポイントやその手掛かりを言葉でまとめる。 ○意図した表現になるように練習する。 				
6時					ワークシート	
7時	<p>◆根拠を持って表現を工夫しよう</p> <p>□解説や演奏をグループで最終調整をし、映像に残そう「未来課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○グループで場面ごとの表現を確認する。 ○中間発表 ○解説と演奏の録画し、Teams で共有する。 	技	思 ②		観察 提出映像 「未来課題」	
8時	<p>□まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各グループの映像を鑑賞し批評する。 ○「表現するってどういうことだろう」に対する答えをまとめる。 	知		態	ワークシート 振り返りシート	